

ふりがな	さとう よしはる																	
氏名	佐藤 芳治																	
区分	アドバイザー	コンサルタント																
専門分野又は得意とする分野 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の方と共にまちに関心を高めるきっかけ作り（まち歩きの企画など） 2. ワークショップの手法を用いて、市民参加型の計画づくり、基本設計を行うことで、利用者の潜在的なニーズを取り入れた空間像を導き出すこと。 3. 長期的な視点とともに各種データを分かりやすく提示することで地域の方が主体となってまちづくり計画を推進する支援（広域のエリア単位での地域の位置付けや将来像の提示など） 4. 複数の建物や敷地が広がりを持つ空間のデザイン 5. 建物と外部空間のあり方など、まちづくりとしての計画づくり 6. 建物の企画段階から将来を見据えた事業計画、ユーザの条件の中で最良の環境を創出するためのコンストラクションマネジメント 																		
主な実績 <table border="0"> <thead> <tr> <th>(活動時期)</th> <th>(活動実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 21 年～ 平成 22 年</td> <td>仙台市鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業に関するワークショップ運営業務</td> </tr> <tr> <td>平成 21 年～ 平成 22 年</td> <td>第 5 次大河原町長期総合計画策定に係るワークショップ運営協力業務</td> </tr> <tr> <td>平成 19 年～ 平成 23 年</td> <td>幕張新都心住宅地SH2街区マスタープラン作成～設計調整</td> </tr> <tr> <td>平成 23 年～ 平成 27 年</td> <td>東北大学工学研究科青葉山東キャンパスの震災復興事業</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年～ 平成 26 年</td> <td>ILC計画を契機とした、まちづくりビジョン策定業務</td> </tr> <tr> <td>平成 22 年～ 現在</td> <td>東北学院大学キャンパスマスタープラン策定協力業務</td> </tr> <tr> <td>平成 22 年～ 平成 23 年</td> <td>太白区金剛沢前町内会集会所の建替に関するコンサルティング</td> </tr> </tbody> </table>			(活動時期)	(活動実績)	平成 21 年～ 平成 22 年	仙台市鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業に関するワークショップ運営業務	平成 21 年～ 平成 22 年	第 5 次大河原町長期総合計画策定に係るワークショップ運営協力業務	平成 19 年～ 平成 23 年	幕張新都心住宅地SH2街区マスタープラン作成～設計調整	平成 23 年～ 平成 27 年	東北大学工学研究科青葉山東キャンパスの震災復興事業	平成 25 年～ 平成 26 年	ILC計画を契機とした、まちづくりビジョン策定業務	平成 22 年～ 現在	東北学院大学キャンパスマスタープラン策定協力業務	平成 22 年～ 平成 23 年	太白区金剛沢前町内会集会所の建替に関するコンサルティング
(活動時期)	(活動実績)																	
平成 21 年～ 平成 22 年	仙台市鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業に関するワークショップ運営業務																	
平成 21 年～ 平成 22 年	第 5 次大河原町長期総合計画策定に係るワークショップ運営協力業務																	
平成 19 年～ 平成 23 年	幕張新都心住宅地SH2街区マスタープラン作成～設計調整																	
平成 23 年～ 平成 27 年	東北大学工学研究科青葉山東キャンパスの震災復興事業																	
平成 25 年～ 平成 26 年	ILC計画を契機とした、まちづくりビジョン策定業務																	
平成 22 年～ 現在	東北学院大学キャンパスマスタープラン策定協力業務																	
平成 22 年～ 平成 23 年	太白区金剛沢前町内会集会所の建替に関するコンサルティング																	
資格等 ・技術士 建設部門(都市及び地方計画)																		
まちづくりに関する活動履歴 <ul style="list-style-type: none"> ■仙台の 30 年後の都市像を想定した「仙台都市デザインマスタープラン 2004」を専門家を交えて策定した。 ■“せんだいセントラルパーク構想”を推進することをテーマとした「仙台都市デザインガイドブック 2006」を出版し、仙台の都市の魅力とそれを高める都市づくりを市民とともに進めていく提案を行ってきた。 ■ワークショップの手法を用いて、地域住民とともに新しい集会所や広場の計画を行い、その成果を設計の前提条件に組み入れ、利用者の意見を反映した公共空間の整備を実践してきた。 ■大学キャンパスの計画を通じて、建物単位のデザインだけでなく、建物群とその間にあるオープンスペースの関係性を重視したまちづくりとしての都市デザインの経験を積んできた。 ■幕張ベイタウンにおける事業を通じて、街区の計画段階から配置検討を事業者とともにを行い、多くの設計者とのワークショップを経て、計画を調整し、街全体の価値を高める都市デザインの経験を積んだ。 																		

まちづくりについて考えること

私は、いいまちをつくりたいと考えています。多くの方もそう思っているでしょう。では、いいまちとはどのようなまちでしょうか。きらびやかな都会でしょうか、水と緑が美しい田舎でしょうか。買い物がすぐにできる便利なところでしょうか、医療や福祉サービスが整ったまちでしょうか。一人一人、いいまちとして思い描くものは違うはずですが、では、どのようにして、実際にいいまちを作っていけばいいのでしょうか。

私は、旅行が好きです。幸いにして、仕事でも世界のいろいろな街に行きました。ニューヨーク、シカゴ、サンフランシスコ、ローマ、ベネチア、バルセロナ、パリ、ミュンヘン、プラハ、ヘルシンキ、香港、ソウル、ホノルル、、、どこもいいまちだな、と思いました。もちろん旅行者の目線ですが、本当に住んでみたいと思うまちがいくつもあります。そのような素敵なまちには、古今東西場所は違えど、長い歴史と文化が積み重なっていて、自然や気候の中から生まれた美味しいものがあります。何よりもそのまちのスタイルで人々が日々の暮らしを楽しむ姿を見て、惹かれるのです。

私も仕事として対象となる街については、様々な角度から調べます。地形や自然、気候風土、歴史、産業、文化、教育、景観、、、。色々な人に伺って街の特徴や魅力、今後のまちづくりに繋がる何かを探すことに全力を挙げます。そうして見つけたもの、そのまちの個性やまちの魅力を地域の方と共有し、大きく育てていく。まちづくりとはそのような作業だと考えています。

現実には、私たちは一つのまちで仕事をし、暮らしていますが、日々の生活に追われてしまい、本当はすぐそこにある、旅人が目を留めるようなこのまちの魅力に気がついていないかもしれません。複雑化する地域課題に対しても、一人一人が地域を改めて見渡して、解決の糸口やより楽しく暮らせるきっかけをみつけていきたいと思えます。

皆さんと共にまちをもっと楽しく、いいまちにする、そのお手伝いをできれば幸いです。